

2022 年度日本農学会シンポジウムプログラム

統一テーマ：「カーボンニュートラルの達成にむけた農学研究」

主な対象：一般、学生・大学院生、若手研究者

日時：2022 年 10 月 1 日（土） 10 時より

場所：東京大学弥生講堂 対面・オンライン配信のハイブリッド開催

参加申込：<https://bit.ly/3R15DMY>

主催：（一社）日本農学会 後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、（公財）農学会

■講演時間「講演 30 分・質疑(交代)5 分」

10:00～10:07 開会挨拶・趣旨説明 会長 大杉 立

10:07～10:10 講演準備

10:10～10:45 基調講演「食料生産と気候変動緩和の一石二鳥 ～土壌は地球を救う！～」

白戸 康人（農研機構 農業環境研究部門）

10:45～10:50 質疑・交代

10:50～11:20 「家畜由来の温室効果ガス低減の取り組み」 野中 最子（農研機構 畜産研究部門）

11:20～11:25 質疑・交代

11:25～11:55 「園芸生産に要するカーボンの排出削減に向けた技術革新」

彦坂 晶子（千葉大学園芸学研究院）

11:55～12:00 質疑

12:00～13:00 ***** 休息 —昼食— *****

13:00～13:30 「ゲノム編集が引き出す植物の未知なる可能性

—ゼロエミッション、マイナスエミッションに向けて—

遠藤 真咲（農研機構 生物機能利用研究部門）

13:30～13:35 質疑・交代

13:35～14:05 「再生可能エネルギー発電をマネジメントする—中国地方の農協小水力を事例に—」

本田 恭子（岡山大学学術研究院）

14:05～14:10 質疑・交代

14:10～14:40 「都市の木づかいでカーボンニュートラルに貢献！」

恒次 祐子（東京大学大学院農学生命科学研究科）

14:40～14:45 質疑・交代

14:45～14:55 ***** 休息 —10 分— *****

14:55～15:25 「環境保全と食糧生産および農業経営を安定化させるカギは土壌炭素」

佐々木 章晴（北海道大学農学研究院）

15:25～15:30 質疑・交代

15:30～16:00 「地域バイオマスを活用した堆肥づくりと除染後農地土壌の肥沃度向上」

溝口 勝（東京大学大学院農学生命科学研究科）

16:00～16:05 質疑

16:05～16:15 ***** 休息 10 分（総合討論準備） *****

16:15～17:05 総合討論 司会 副会長 大政謙次

17:05～ 閉会挨拶 副会長 渡部終五